

事業所名		株式会社MISHIMA				支援プログラム		作成日		2025 年		3 月		27 日					
法人（事業所）理念		かかわるすべての子どもたちの可能性を広げることができる教室を作る。																	
支援方針		子どもの個性を尊重し、自己肯定感を育て、主体的な成長をサポートする。日常生活に必要な知識や技術に加え、創造力や問題解決能力、強い意志を育む環境を提供し、困難に立ち向かう力を養う。保護者とともに、子どもの成長を支えながら、明るい未来に向けて歩んでいく。																	
営業時間		9 時		30 分		から		18 時		30 分		まで		送迎実施の有無		あり		なし	
		支 援 内 容																	
本人支援	健康・生活	○健康管理：健康チェックや病気予防を徹底するとともに、消毒液を各教室に配備し、殺菌消毒を徹底します。 ○日常生活動作の習得：生活に必要な整理整頓や持ち物の管理、自身の健康状態の把握の力が身につくよう支援を行います。 ○ご家庭との連携：ご家庭との連携を密に行いながら子どもの様子等をお聞きし、子ども本来の姿に向けた支援を行います。																	
	運動・感覚	○ビジョントレーニング：注視・追視・見る・直観像・動作模倣等の課題を行い、集中力や見る力を最大限伸ばしていきます。 ○姿勢保持：学校での授業や保育園・幼稚園で、集中して座れるように、体幹トレーニングや筋力を鍛える遊びを提供します。 ○体力作り：粗大運動を通して、基礎体力を向上していきます。 ○感覚統合：感触遊びや製作、運動遊び等を通じて、6感(視覚・聴覚・嗅覚・触覚・前庭感覚・固有受容覚)が養われるようにプログラムを組んでいます。 ○体幹トレーニング：バランスボールやトランポリン、平均台や回転椅子等、様々な器具を活用し、体幹を鍛えていきます。																	
	認知・行動	○学習支援：学校の勉強に必要なってくるスキルの向上を遊びやゲームを通して支援していきます(ビジョントレーニング・ワーキングメモリー・思考の課題など)。国語と算数の個々の苦手に合わせた支援をしています。 ○見通しの持てるよう環境を設定し、安心して過ごせるよう配慮していきます。 ○感情のコントロール：感情シートやSSTの課題、小集団活動を通じてロープレや客観的に感情を捉えられる練習を行います。自分自身やお友だちの気持ちの汲み取りや、受け取り方のコントロールを個別で支援していく。																	
	言語 コミュニケーション	○コミュニケーション能力：小集団での療育の中で、お友だちや指導員への適切な伝え方が学べるよう支援していきます。 ○会話：質問に答えたり、テーマについて相手に分かりやすく伝えるなど、5W1Hを駆使した課題を取り入れることで、豊かな会話ができるように支援していきます。 ○集団活動：小集団クラスを展開して、集団行動の練習を行います。個別クラスにも集団遊びをプログラムに入れているので、人とのコミュニケーションが苦手な子どもも、楽しく遊んでいくうちにコミュニケーションが図れるようになっていきます。																	
	人間関係 社会性	○会話・傾聴：聞く課題や話す課題を行い、対話や授業で先生の話聞くことへと繋げていきます。 ○SST：ソーシャルスキルトレーニングを行い、社会的な場面での適切な行動・気持ちを汲み取りながら人とかかわる方法等を身に付けられるように支援していきます。 ○集団療育：小集団療育の中で、協調性・思いやりの気持ちが育めるよう課題や遊びを通して関わりを深めていきます。普段行わない遊び(実験や月末のイベント)を通して、楽しい遊びを行えるようにしていきます。 ○信頼関係：指導員との信頼関係を築くことが、支援の中で最も優先すべきものと考えています。安心した人となら頑張れる子どもの気持ちを最優先に考えて、指導員が温かく、優しい雰囲気でご迎え入れます。一日小学校で頑張った子どもたちが一息つける安心できる場所となるように努めます。																	
家族支援		○療育後のフィードバック・保護者面談の実施をしっかりと行うことでご家族が抱えている悩みやストレスに対するお話を聞いて、サポートしていきます。また、保護者に限らず、祖父母や親戚の方とも面談を行い、子どもの支援方針を一緒に考えていきます。 ○ペアレントトレーニングを行い、障害に対する理解、安心感を持つ、不安な気持ちを減少できるようにします。 ○定期的モニタリングを行います。 ○イベントを通して、普段かかわりのないご家庭と交流を深められる環境を提供します。						移行支援				○保育所等訪問支援を通して、園生活や学校生活をサポートしていきます。 ○ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた支援を提供します。 ○知育に限らず人間教育を大切にしていきます。 ○同じ地域に住んでいる子どもも多いので、集団活動を通して友達を作り、進級・進学後の仲間作りを行います。							
地域支援・地域連携		○子どもにかかわる地域の関係者・関係機関(保険・医療・福祉・学校・保育園・幼稚園等)と密に連携・情報共有をして包括的な支援体制を整備します。 ○近隣施設(公園・図書館・文化会館・パルコ・公民館等の公共施設等)を活用し、地域資源を最大限活かします。 ○相談支援事業所との連携を密に行い、より良い支援方法を提供していきます。						職員の質の向上				新入社員研修、虐待防止・身体拘束に関する研修、業務継続計画(BCP)研修、コンプライアンス研修、事例検討研修、児童発達支援管理責任者研修、防火・防災・不審者対応訓練、強度行動障害研修等を実施しています。							
主な行事等		コミュニケーショントレーニング、お正月イベント、レクリエーション、夏祭り、クリスマス会、体操教室、卒業式、ペアレントトレーニング等。																	